

1. プランの効果検証と検証委員構成等について



活性化プラン2024

三重県建設産業活性化プラン2024の概要

三重県建設産業活性化プラン2024 【策定】令和6年3月 【計画期間】令和6～9年度

- 地域の建設業が地域の守り手としてその役割を担い続けることができるよう、適正な利潤の確保に配慮しつつ、この4年間では、「担い手の確保」「労働環境の改善」「生産性の向上」の3つの取組方針を柱として、相互に連携し、相乗効果を生み出しながら、新たな将来ビジョンをめざします。

～将来ビジョン～ 時代の変化に対応した経営により、地域の建設企業が将来にわたり存続し続ける

【取組方針1:担い手の確保】

教育機関等との連携の下、建設業の魅力を発信し、新卒者やU・Iターン人材の担い手確保

【取組方針2:労働環境の改善】

休日の確保や時間外労働時間の削減、人材育成や福利厚生など、建設就業者の労働環境を改善

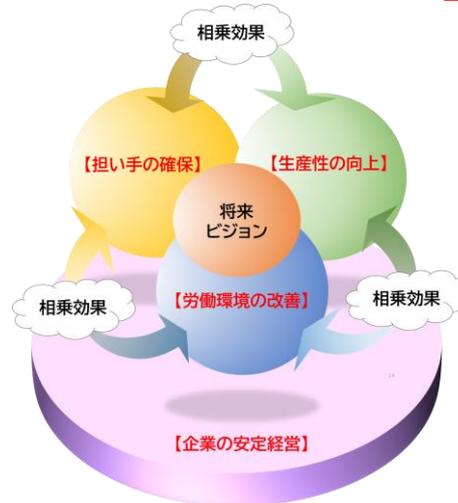
【取組方針3:生産性の向上】

建設DXの導入・活用、新技術の活用等により、建設企業の業務における生産性を向上

【企業の安定経営に向けた取組方針】

上記3つの取組方針にある施策を推進していくため、建設企業の経営状況の確認と適正な利潤の確保

◆各取組の関係性のイメージ



目指す姿



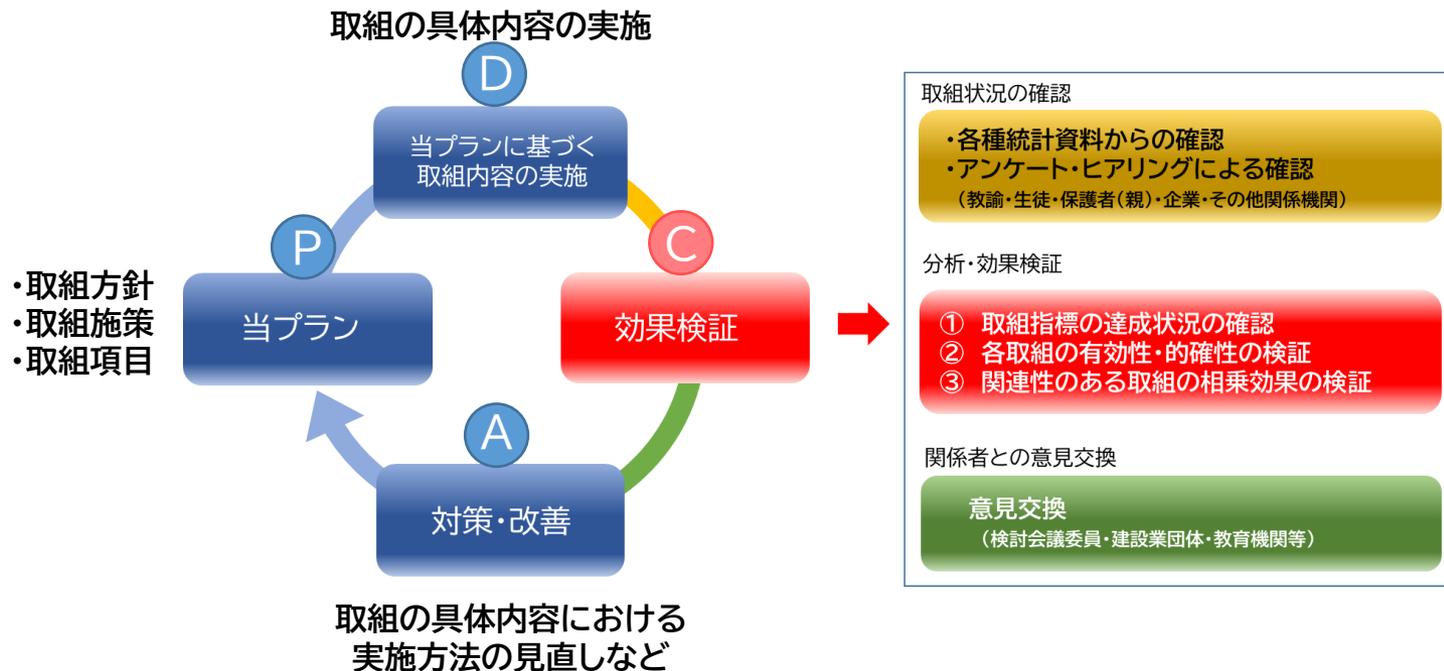
◆地域を支える建設業の将来イメージ



進捗管理の体制(三重県建設産業活性化プラン2024より)

当プランの取組(※)を効果的に進めるため、建設業団体や教育機関等と随時実施する意見交換や検討会議委員等との定期的(年1回程度)な意見交換をふまえて、建設業をとりまく状況の変化や各取組の効果を検証し、対策・改善を行いながら取組を推進していきます。

効果検証においては、統計資料や企業へのアンケート調査等により、取組方針の進捗を代表する取組指標の達成状況を確認し、その要因を分析するとともに、多角的な観点から各取組の有効性や的確性を検証し、取組の対策・改善につなげていきます。



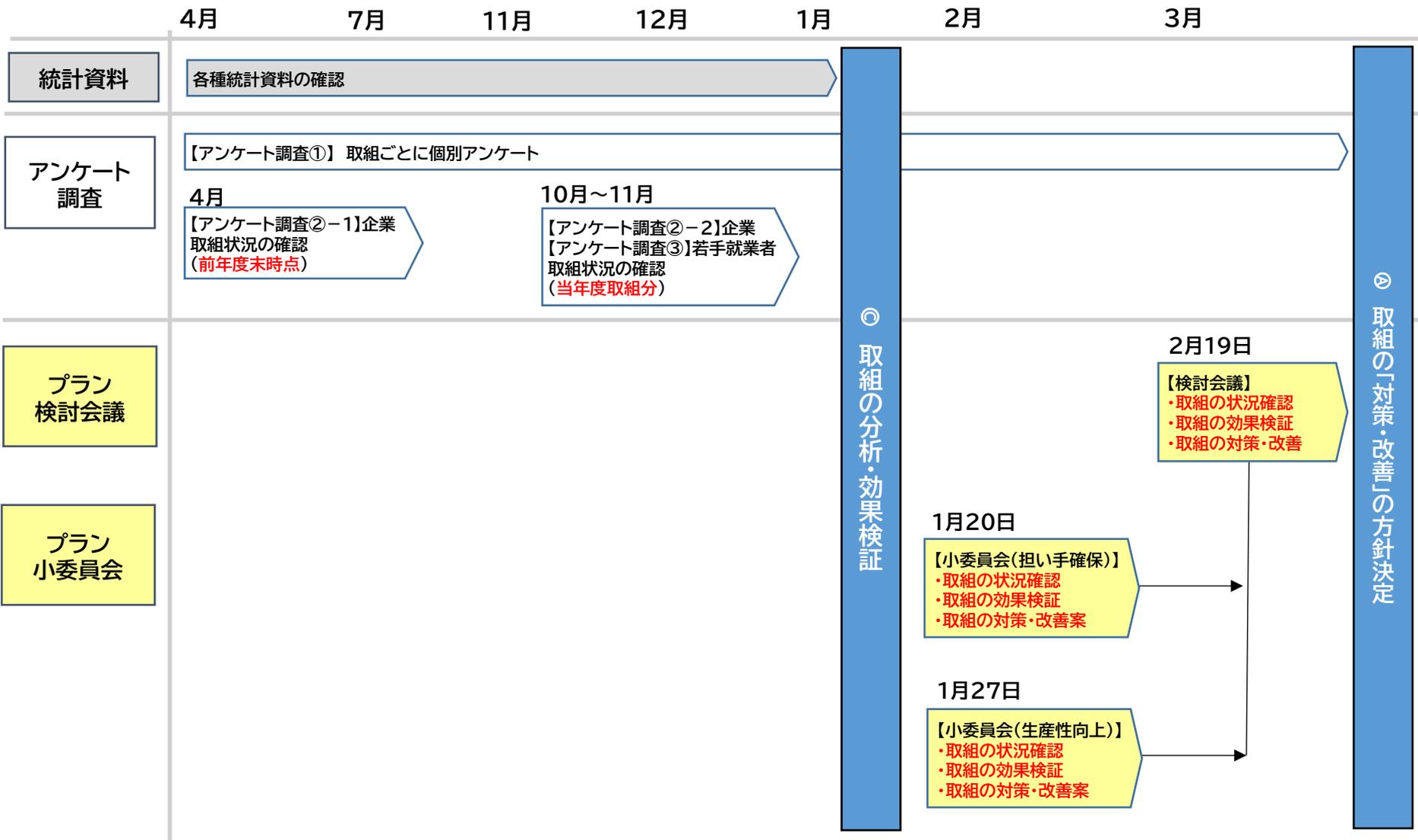


三重県建設産業活性化プラン検討会議及び小委員会委員

三重県建設産業活性化プラン検討会議委員		
役職	氏名	分野
三重大学大学院 生物資源学研究所 教授	岡島 賢治	学識経験者
成蹊大学 経済学部 名誉教授	井出 多加子	
名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	秀島 栄三	
東日本建設業保証株式会社 三重支店長	横山 潤	金融・シンク タンク
株式会社Pプライムコンサルタンツ 取締役	小林 ゆかり	
三重県立伊勢工業高等学校 校長	奥山 敦弘	教育
三重県建設業協会 技術者育成委員会 担当副会長	橋爪 吉生	建設企業
市町(発注者協議会) 四日市都市整備部長	伊藤 準紫	行政
三重県県土整備部 理事	上村 告	

三重県建設産業活性化プラン小委員会 担い手確保委員		
役職	氏名	分野
成蹊大学 経済学部 名誉教授	井出 多加子	学識経験者
三重県立津工業高等学校 教諭	山脇 和吉	教育
三重県立桑名北高等学校 主幹教諭	井上 和也	
三重県立尾鷲高等学校 教諭	福田 美佳	
三重県建設業協会 技術者育成委員会 委員長	伊藤 秀樹	建設企業
三重県建設業協会 建設業活性化ビジョン検討委員会 委員長	西尾 亮	
三重県建設業協会 女性部会 会長	加藤 ゆかり	
三重県県土整備部 副部長(公共事業総合政策担当)	水谷 寛	行政

三重県建設産業活性化プラン小委員会 生産性向上委員		
役職	氏名	分野
名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	秀島 栄三	学識経験者
(一社)建設ディレクター協会 理事長	新井 恭子	建設DX
中部i-Construction研究会 ICTアドバイザー	福嶋 成仁	
中部i-Construction研究会 ICTアドバイザー	有城 和哉	建設企業・ 建設DX
三重県建設業協会 建設業活性化ビジョン検討委員会 委員	山野 浩	建設企業
三重県建設業協会 DX専門委員会 副委員長	森川 幸彦	
三重県県土整備部 技術管理課長	濱瀬 賢司	行政



次年度以降(R8～R9年度)も取組の効果进行分析・検証